



介護と
予防

COPD(慢性閉塞性肺疾患)の症状と 福祉用具の選定ポイント

今回は、COPD(慢性閉塞性肺疾患)の症状と福祉用具選定ポイントをご紹介します。

COPD は、主にタバコの煙など有害物質を長期に渡り吸うことが原因で、

気管支や肺に炎症を起こし、呼吸機能が低下する 病気の総称です。

完治しないため、**心身負担に配慮した生活環境づくり** が大切です。

肺気腫や
慢性気管支炎を
総称して
COPD と
いいます



■ 環境整備対応のポイント

呼吸しやすい体勢のサポート

腹式呼吸を妨げない

お腹を
圧迫しない

衣服の着脱には
イスに座って
前かがみにならない
ようにしましょう



胸式呼吸を妨げない

腕を
肩より高く
あげたり、
宙に浮かせない



呼吸リズムの安定のサポート

呼吸を止めない

動作は息を
吐きながら行う

いきむことも
呼吸リズムを乱します



呼吸を速くしない

反復動作に
気を付ける

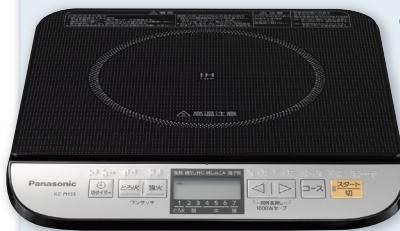
体を激しく動かすなど
息が上がる動作は
禁物です



COPD(慢性閉塞性肺疾患)の症状と福祉用具選定ポイント

■ 室内

- 床からの立ち上がりはいきんで呼吸が乱れがちなので、ベッドの導入をおすすめします。



- 酸素ボンベを使用している場合は火気に注意が必要です。IHクッキングヒーターへの切替もおすすめです。

- 風邪やインフルエンザをきっかけに症状が悪化しがちです。手洗い・うがいをしっかりとすると他、空間洗浄機の導入もおすすめです。

■ 浴室

- 寒暖差が大きいと、呼吸リズムがくずれやすくなるので要注意です。

- 頭髪を洗う動作は、

- ①顔に水が掛かる
- ②前かがみになる
- ③腕が肩より上にあがる
- ④反復動作になる

など負担が大きいです。



壁掛けのシャワーを利用し、シャンプーハットを利用したり、頭を横に倒して片手で洗うなどするとラクです。リンスインシャンプーの使用は時間の短縮になります。

- 体を洗うときは、床や低いフロイスに座ると、腹部が圧迫され、立ち上がり時に呼吸も乱れやすくなります。シャワーチェアを導入しましょう。背中を洗う際、長めのタオルが良いでしょう。



- 湯船に浸かる際は、浴槽台に座り、半身浴にすると胸部の圧迫が少なく呼吸がラクです。

■ トイレ

- 和式便器は腹部を圧迫するので、洋式便器に替えましょう。



かぶせるだけで
工事せずに
洋式トイレに
できます。



- トイレまでの移動で息苦しくなる場合は、ポータブルトイレも検討しましょう。

次回は

片麻痺の方への
福祉用具の選定ポイントを
ご紹介します。



詳細は
「介護・生活快適商品カタログ2018-2019」
をご覧ください。

ご用命は

上記品揃え以外も取り揃えております。

パナソニック エイジフリー株式会社 ケアプロダクツ事業部
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

<http://sumai.panasonic.jp/agefree/products>

法人のお客様 製品・在庫に関するお問合せ TEL06-6908-8141
個人のお客様 製品に関するお問合せ

0120-365887 受付 9:00~12:00/13:00~17:00
時間 (土、日、祝日休み)

このチラシの記載内容は2019年7月現在のものです。